

稲城野草散策の会

野草スケッチ コオニタビラコ（キク科）



1997/04/11

稲城市坂浜

by Ta

コオニタビラコは、春の七草の一つである。

「えっ、春の七草は、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロですよ。コオニタビラコなんて入っていませんよ」という反論が聞こえてきそうだ。

「でもご心配なく。ホトケノザとはコオニタビラコのことですよ」

「ホトケノザって、シソ科のピンクの花じゃないんですか。この絵のような黄色い花とは違うのでは・・・」

という具合にややこしいのだが、春の七草に入っているホトケノザは、現在で言うコオニタビラコのことだ。

ホトケノザの名前は、放射状に広がった葉を仏様の座布団?に見立てたものだという。そして図鑑をひも解くと、シソ科にもホトケノザがある。シソ科の方は帰化植物で、後から入って来て、本家の名前を奪ってしまったらしい。このように、植物名は時代とともに変化することが稀ではない。

いまどき、家庭で七草粥を作る人はどれくらいいるのだろうか。毎年時期になるとテレビで七草の紹介や調理方法を放映しているが、1人で七草を集められる人は、都会ではかなり少ないのではないかと思う。

もっとも、スズナ、スズシロは、蕪、大根なので、これはその辺で勝手に採るわけにはいかないが、他の5草を揃えられるフィールドは、もう限られた場所になりつつあるし、5草を花の無い時期に他の草の中から見分けることは、かなり難しい。

会員からの要望もあって、稲城野草散策の会の1月の例会は、野草摘みと七草粥の調理に充てている。当然、スズナ、スズシロは購入したものだ。野草摘みは川崎市黒川で行う。黒川には雑木林と、湧き水を利用した谷戸田が広がっている。黒川は稲城市若葉台町と隣接しており、若葉台駅からは徒歩10分ほどで行ける。川崎市の北端に位置しているが「カワサキ」というイメージからは程遠い、豊かな自然に恵まれたフィールドである。

1月初旬の野草摘みではあるが、最近では雪に見舞われることは少ない。ぽかぽかと陽光を浴びての草摘みは、実にのどか。万葉の昔へタイムスリップしたような錯覚すら覚える。おかしいのは、皆が子供に帰ったようにイキイキと動き回り、眼の輝きまで違ってくることだ。中には田んぼに腰を下ろして夢中でセリを摘んでいる人もいる。

「〇〇ちゃん、おズボンが汚れるでしょ」なんて言ってみたい気分(^_^)

コオニタビラコは田んぼの中に生える。不思議なことに、びっしりと生えている田んぼがあっても、隣接した田んぼにはまったく無いこともある。なるべく大きなものを摘むようにしているが、田んぼによって育ち方が違っていることも不思議の一つだ。

慣れないうちは、コオニタビラコとナズナの区別が付け難い。どちらも七草メンバーだから間違えても構わないのだが、食べられないものが混じる場合もある。それぞれの野草の特徴、毒草との違いはしっかり教えてからスタートするが、一度の説明では無理だ。摘みながら、訊かれれば何度でも同じ説明をしている。最近当会では、しっかりと覚えて、初心者に指導できる人が増えてきたのは心強い。

コオニタビラコには、コクとともにほろ苦さがあり、私はこの味が好きだ。ただ、お浸しだとちょっと苦味が勝ってしまう場合がある。あるとき、ベーコンと一緒に炒めてみたところ、好評であった。それ以来、七草粥を作る傍らでベーコン炒めを作るのが定番になった。

七草粥は正月料理で疲れた胃袋を休めるためのものだそうだが、ベーコン炒めを肴に酒を飲んだりしては主旨に反することになる。でも美味しいんだなあ、これが(^_^)

2005/1/15 黒川七草摘み

項目	説明	地図
集合	am10時、京王相模原線 若葉台駅 ※会旗目標	
交通	京王線調布駅から相模原線 橋本行快速または各停で5 駅目 若葉台駅には急行は 停まりませんのでご注意く ださい	
行く先 (解散場所)	黒川の谷戸で七草摘みをし ます。若葉台駅にてpm3 時頃解散予定	
見所 その他	七草粥用のセリ、ナズナ、 オギョウ(ハハコグサ)、ハ コベラ(ハコベ)、ホトケノ ザ(コオニタビラコ)など を摘みます。摘んだ七草は 翌日の七草粥用です。個人 的に持ち帰ったりしないで ください	

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

2005/1/16 恒例・七草粥

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線稲城駅 ※会旗目標
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で4駅目。 稲城駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市中央公民館での恒例・七草粥です。 現地で解散。最寄駅は稲城駅です
見所 その他	当会の新年会を兼ねて七草粥を作り、皆で頂きます 2005年度の「稲城野草散策の会」の行事予定を決めます つまみ、酔い子の飲み物などは幹事が用意します。差し入れ大歓迎!

※雨天決行 参加申込み不要、会費当日500円

2005/2/13 (日) 鎌倉

項目	説明	地図
集合	am10時、JR横須賀線北鎌倉駅臨時出口前 大船から行くと同じホームの先にある「臨時出口」です ※会旗目標	
交通	JR横須賀線をご利用下さい	
行く先 (解散場所)	北鎌倉駅から源氏山を経て鎌倉駅へのルートを歩きます 解散・JR横須賀線鎌倉駅(3時半頃)	
見所 その他	ウメ、スミレ お寺では、スイセン、フクジュソウ、ロウバイ、ツバキ、マンサク、サンシュユなどの花が見られるかもしれません	

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

このコースを1月23日(日)に下見に行く予定です。上記と同じ、コースをまわる予定です。集合は、1月23日(日)10時です。HPにアクセス出来る方は、HPの「おしゃべりるーむ」に参加したいと書いて下さい。

☆ 観察会のあとで、質問なり、感想なりを書き込んで下さるとうれしいです。

〔観察会記録〕

2005/12/19 (日) 穴沢天神・焼き芋

今年は雨になりそうだと心配された方もありましたが、絶好のお天気（晴れ男としては雨なんて想像もしていませんでしたか）。

準備組と観察組に分かれて、観察組はよみうりランドの坂道を登り、小沢城址公園を経て、穴沢天神まで冬芽を中心とした観察を行いました。

本田幸子さん、弟さん他の準備組の手際よさであったという間に見事な焚き火と焼き芋の準備が出来上がったところへ観察組が到着、焼き芋がスタートしました。今年は皆様のご協力で特に問題もなく、美味しい焼き芋、お餅、その他差し入れもあって、楽しい焼き芋大会になりました。お手伝いしていただいた方本当にありがとうございました。

今回参加された春風亭勢朝さんは、真打の落語家で、年末は新宿の末広亭に出ていました。興味があれば、彼のHPをのぞいて見て下さい。

<http://seicho.dynax.co.jp/>

次は新年の七草です。またお元気な顔を出して下さい。



このほかに、11月29日に「シダ復習オフ」、12月26日に「河原の樹木オフ」を開催しています。



「稲城野草散策の会」会報の発刊について

「稲城野草散策の会」の各種ご案内は、HPとML（メーリングリスト）で行っていますが、パソコンを使った情報にまだアクセスされていない方が多いと考えています。そういう方を対象に毎月1回を目標にHPで流している情報をこの会報でお知らせするようにしたいと思います。各月の観察会のときにお渡しするようにします。また、既に公表されている広沢さんの「野草スケッチ」を転載してご紹介して行きたいと思います。

お知らせとお願い

●稲城野草散策の会では、会のバッジをお渡ししています。昨年以來5回以上この会に参加された方に差し上げていますので、「5回参加した」という方は世話役の尼子までお申し出下さい。

●ほとんど毎回参加されている方には名前入りの会のバッジを作りました。いつも顔を会わせている方のお名前を知ってお互いの交流を深めていただきたいと思います。

●観察会のあと、必ず懇親会を行っています。「ささやか」と称していますが、必ずしも「ささやか」ではない飲み会です。観察会で見た植物のはなし、植物談義、植物に関連した情報交換、次のフローウ観察会の相談などなど。楽しい集まりです。こういう集まりまた飲み会に興味のある方は観察会の後残ってご参加下さい。歓迎します。

●《お願いです》。

「稲城野草散策の会」では、案内する方が説明のために採ることもありますが、原則として野草の採取は禁止しています。きれいだから、珍しいからといって花を採るようなことは絶対にしないで下さい。

皆さん、お互いに気をつけあって、公共のマナーを守って下さい。駅構内や狭い道などでは、私達以外の通行人がいらっしゃいますので、必ず通り道を空けて置くように気を遣っていただきたいのです。通り道も空けていないようなグループは相手の立場になってみると、なんて自己ちゅうで非常識なグループだと思ってしまうのではありませんか。

●「稲城野草散策の会」に何かご意見、ご希望があれば、幹事の方に遠慮なくお申し出下さい。

新しい年になりました。今年も「稲城野草散策の会」で、楽しくやりましょう。